

地域再生計画（地方創生道路整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	熊本県	事業実施主体	熊本県、山都町	地域再生計画名	山の都づくり計画
計画期間	平成27年度～令和3年度	評価責任者	山都町企画政策課		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	高辻集落から国道265号線へのアクセス時間短縮（町道長谷理立線）	5分	H27	4分	H29	5分	3分	R3	4分	△	3	1	平成28年の熊本地震及び集中豪雨による災害復旧工事を優先的に実施したため進捗が遅れたが、計画の一部において2車線化となり、急カーブ・急勾配が解消され、一部目標を達成することができたと評価する。
	指標2	橋集落から県道河内矢部線へのアクセス時間短縮（町道橋宗旨ヶ鶴線）	9分	H27	8分	H29	9分	6分	R3	9分	×			平成28年の熊本地震及び集中豪雨による災害復旧工事を優先的に実施したため、事業に着手することができなかつたと評価する。
	指標3	万坂集落から国道218号線へのアクセス短縮（町道藤木万坂線）	5分	H27	3分	H29	3分	3分	H31	3分	○			対象事業の竣工により目標を達成できたと評価する。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	間伐等の森林整備面積の増加	449ha	H27	471ha	H29	477ha	493ha	H31	498ha	○	計画的に工事を発注したことにより、森林整備面積の増加へ繋げることができた。		
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（H29）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）	6,727m	2,087m	4,261m	今回の整備により地域住民の利便性の向上や道路交通の安全性につながったと評価する。しかし、平成28年の熊本地震及び集中豪雨による災害復旧工事を優先的に実施したことで、計画を下回る実績となったため、今後も事業進捗に向けて取り組みたい。									
	林道整備事業（整備延長）	3,432m	3,271m	3,386m	2路線とも年度毎に計画的に発注したが、平成28年度の熊本地震や、その後の度重なる豪雨により、工事箇所までの経路が被災し通行不能になるなど不測の事態が生じたため、平成29年度末における事業進捗は95%であった。その後、計画的に事業を行い、平成30年度に進捗率が100%になり、計画期間内に目標を達成できた。（整備量は詳細測量を行った結果、計画と差異が生じた。）									
その他の事業	市町村営林道舗装事業	林道の機能向上、農山村地域の環境改善及び林業従事者の就労環境の改善のため既設林道の舗装を実施			2路線とも年度毎に計画的に発注したが、平成28年度の熊本地震や、その後の度重なる豪雨により、工事箇所までの経路が被災し通行不能になるなど不測の事態が生じたため、平成29年度末における事業進捗は95%であった。その後、計画的に事業を行い、平成30年度に進捗率が100%になり、計画期間内に目標を達成できた。									
	森林・林業・木材産業基盤整備交付金	林道、林業・木材産業施設等林業生産基盤の推進を行うため、林道整備事業を実施			平成28年度及び29年度の災害により、受注業者の対応が遅れていたが、予算繰越し工期内に竣工することができている。									
	山都町森林整備推進事業	森林の水源涵養機能の維持・向上のため、間伐、造林及び下刈を行う際の費用の一部助成			間伐、造林及び下刈りを10年間実施することで補助対象年数を拡大し森林整備の促進を図っているが、事業費率が30%減となったことで進捗に影響している。									
	林道基盤整備事業	林業の振興、森林の適正管理に必要な不可欠な作業路の開設、舗装などの整備費用に対し助成			平成28年の熊本地震及び集中豪雨による、災害復旧工事を優先的に実施しているため、十分な成果を発揮出来ていない。令和3年度に以前から申請があった3件分に予算措置を行い、年度内に事業完了している。									
	社会資本整備総合交付金	地域産業の発展や都市との交流促進、連携強化を図るため、道路ネットワークの効率的な整備を実施			平成28年の熊本地震及び集中豪雨による、災害復旧工事を優先的に実施しているため、十分な成果を発揮出来ていない。									
	単独町道改良事業	地域産業の発展や都市との交流促進、連携強化を図るため、道路ネットワークの効率的な整備を実施			平成29年の熊本地震及び集中豪雨による、災害復旧工事を優先的に実施しているため、十分な成果を発揮出来ていない。									
計画外で独自に実施した事業	-													
	-													
④評価方法	山の都まち・ひと・しごと創生戦略会議にて、最終目標値の実現状況に関する評価等を行った													
⑤事後評価の公表方法	山都町ホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、平成28年4月の熊本地震及び6月の梅雨前線豪雨により発生した災害復旧事業を最優先としたことから、計画に沿った予算措置及び事業の遂行が実行できなかったため、各指標に対する目標を一部達成することができなかった。また、観光事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により全国的にも大きく落ち込んでおり回復には時間を要すると思われるが、道整備交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に実施したことで、災害に強く安心安全な道路環境が実現でき森林整備にかかる効果が得られ、本交付金制度を活用するメリットは大きかった。													
⑦今後の方針等	新たな地域再生計画を作成し、今後も継続して町道と林道整備を一体的に実施し、住民生活の利便性向上や、農林業および観光の振興を図るため事業を推進していく。													